沢田ひとみ

自民党 名古屋市会議員 天白区



FUJI鉄道ひろば　B6形蒸気機関車

ごあいさつ

秋も深まり、朝夕の冷え込みを感じる季節となりました。市民の皆様の暮らしと安全を守ることは、市政の大切な役割です。防災・減災対策をはじめ子育て支援や福祉の充実、子どもたちの安全を守る取り組みなど、身近な課題にも力を注ぎ、安心して暮らせる、温かな名古屋のまちづくりに努めてまいります。

住民票の写し等の証明書がコンビニで取得できるようになります！

令和８年12月16日（水）から、マイナンバーカードを利用して、コンビニエンスストア等に設置されているマルチコピー機で、住民票の写し等の証明書が取得できるコンビニ交付サービスが始まります。
区役所支所の窓口が開いていない早朝や深夜、土日祝日でもご利用いただけます。

※画像はイメージです。



取得できる証明書一覧

※システムメンテナンスを行う場合があり、その時間帯は証明書を取得できません。

種類	手数料	利用時間
住民票の写し	200円	6:30～23:00
住民票記載事項証明書	200円	6:30～23:00
印鑑登録証明書	200円	6:30～23:00
戸籍証明書	350円	8:30～19:00
戸籍の附票の写し	200円	8:30～19:00
所得証明書	200円	6:30～23:00

沢田ひとみ議員 議案外質問ダイジェスト

令和8年6月定例会



1.女性トイレの行列問題解消に向けたトイレの在り方について

質問 女性用トイレの長い行列は、単なる不便の問題ではなく、女性や子ども連れの方、高齢者などの外出や社会参画にも関わる重要な課題。国土交通省が公表した新ガイドラインを踏まえ、女性用トイレの行列解消に向けた対策を進めるべきではないか。

答弁
- ●実際の利用状況に応じた環境整備が重要。各施設を所管する関係局に対し、混雑状況や便器数の実態把握、新設・改修時の検討を働きかける。（スポーツ市民局長）
- ●施設ごとの利用実態を把握し、混雑時の運用面での工夫や大規模改修に合わせた対策を検討する。（観光文化交流局長）
- ●国土交通省のガイドラインの考え方を交通局のトイレ整備基本計画に取り入れるなど、誰もが安全・快適に利用できる環境の実現を目指す。（交通局長）

2.学校における生成AIの活用について



質問 生成AIは便利なものだが、使い方や倫理観を誤れば重大な犯罪の加担ツールや人権侵害につながるリスクがある。子どもたちへの情報モラル教育や教員研修の現状、今後の方針は。

答弁 子どもたちに対しては、様々な場面で情報モラル教育に取り組んでいる。教員には、生成AIの活用方法や注意点に関する研修を実施。今後も教員のスキルを継続的に更新し、子どもたちが生成AIを適切に活用しながら、自分の考えを形成する力を育む教育を進める。（教育長）

令和8年8月定例会

1.大規模災害時における学校支援チームの設置について

質問 大規模災害時、被災した学校では、子どもたちへの対応や学校の復旧・再開など多くの業務を担うこととなる。災害時に支援を行う「応援」と、外部からの支援を受け入れる「受援」の両面から、平時より人材育成や受入体制を整備するため、本市独自の学校支援チームを設置すべきではないか。

答弁 国の支援制度の活用や先進自治体の事例を踏まえ、防災危機管理局や県と連携し、市独自の学校支援チームの設置に向けて速やかに取り組む。（教育長）

2.ICTを活用した自殺対策の強化について

質問 検索連動型広告を、「こころの絆創膏（※）」を案内する単なる広報手段ではなく、自殺リスクの高い方を早期に支援につなぐアウトリーチ手法として充実させるべきではないか。また、次期計画にICTの活用をどう反映するのか。

答弁 広告表現や検索用語を見直し、少ない操作で相談窓口につながるよう早期に改善を行う。ICTを活用したアウトリーチ型の自殺対策の強化を検討し、令和9年度末に策定する次期「いのちの支援なごやプラン」に反映する。（健康福祉局長）

※「こころの絆創膏」とは、仕事や家庭、人間関係、お金の問題など、さまざまな悩みに対応する相談窓口や、心の健康に関する情報を紹介するサイトです。



被災した学校の再開サポート
「支援チーム」市独自設置へ

市教委は2日、大規模災害時に被災した学校に教職員らを派遣して授業再開をサポートする「学校支援チーム」を市として独自に設置する方針を示した。本年度中にプロジェクトチームを立ち上げ、派遣する職種や勤務条件、指揮命令系統などを検討する。沢田仁実議員（自民）の議案外質問に答えた。

市教委によると、学校支援チームは、被災した学校に派遣され、避難所となっている学校の運営支援や子どもや保護者、教職員の心のケアを担う。現在、兵庫県などで設置されており、国も自治体への設置を後押ししている。

市教委では、2016年の熊本地震や能登半島地震の被災地に、事務局に勤務する教員や、スクールカウンセラー（SC）を派遣してきた。杉浦弘昌教育長はチームの設置について「他地域の支援に加え、市が被災した際に外部の支援を円滑に受け入れて学校の早期再開につなげる上でも、有効な取り組みだ」と説明した。

（片岡典子）

中日新聞 令和8年9月3日付 朝刊より

プロフィール



沢田 ひとみ

生年月日	昭和59年3月
経　歴	平成18年3月　名城大学法学部法学科 卒業 平成18年4月　日本興亜損害保険株式会社（現・損害保険ジャパン株式会社）入社 平成31年4月　名古屋市会議員 初当選 令和 5年4月　名古屋市会議員 2期当選 植田南消防団所属
資格等	行政書士／宅地建物取引士／2級ファイナンシャル・プランニング技能士
趣　味	映画鑑賞／筋トレ

ご意見をお聞かせください

より良い名古屋をつくるために、市政へのご要望やお困りごとをぜひお聞かせください。

FAXでのご連絡はこちら
052-308-3905

Webサイトでのご連絡はこちら
沢田ひとみ 検索

発行所　自民党名古屋市会議員団　名古屋中区三の丸3丁目1番1号　名古屋市役所内　電話（大代）052-961-1111（内線2017）